

# 第33回かりがね祭り



ちびっこ宣言



よさこい



投松明

# 岩松 だまちづくり より

第 11 号  
編集・発行  
岩松地区まちづくり協議会  
岩松まちづくりセンター内  
電話 63-5210  
岩松地区の人口  
男 4,891人  
女 5,110人  
計 10,001人  
(4,307世帯)  
令和5年1月1日現在

第三十三回かりがね祭りが、令和四年十月一日(土)に開催されました。三年ぶりの今年はコロナ禍で規模を縮小して、投松明と花火を中心に行いました。

『雁微笑連』による勇壮なよさこいのオープニングセレモニーに続き、開会式、そしてメインの投松明が始まりました。火のついた投松明が「ジョウゴ」と呼ばれる籠に入ると夜空に赤々と燃え上り、さらに炎が火の滝となって落ちると観客から大きな歓声が上がりました。そして見事な花火が打ち上げられ、また歓声が上がりました。来場者が非常に喜んでくれました。

かりがね祭り開催のために実行委員会が設けられました。岩松地区での単独開催、二年間のプランク等で「何をやればいいのか」「どうやったらいいのか」と戸惑いも多くありました。しかし実行委員の皆様が知恵を出し合い、協力・団結したおかげで成功裡に終えることができました。この力が「地域の力」となり、明日へのまちづくりにつながると思います。できれば来年は舞台や出店もできると思います。

かりがね祭り実行委員会

委員長 加藤 昭夫

## 行政懇談会



延期していた岩松地区行政懇談会を、令和四年十月十三日(木)に開催しました。

冒頭、市長は、直前のかりがね祭り開催に対して敬意を表し、祭りに関わるエピソードを話されました。講話では、市政運営の基本姿勢である新型コロナウイルス感染症対策、地方創生、デジタル変革及びSDGs未来都市の各取組に関して、重点施策を話していただきました。

出席者からは、市内の石炭火力発電の現状や今後の公共交通の考えについての質問が挙がりました。

まちづくり協議会

会長 大芝 收

# バレーボール大会



令和四年十一月二十日(日)、岩松中学校体育館で岩松地区バレーボール大会が開催されました。地区からは林町区・新町区・水神区の三チームが参加、そして岩松ニユーススポーツ教室の一

チームを合わせた合計四チームでトーナメント戦を行いました。  
結果、優勝：水神区、準優勝：新町区、以下林町区、ニユーススポーツ教室となりました。新型コロナウイルス感染症が流行する中、選手の方々は和気あいあいとプレーされていて、大変良かったと思います。これからも地区の皆さんに協力していただき、スポーツ事業が盛大に開催されることを望んでおります。

まちづくり協議会  
副会長 石川 隆文

# 市民安全大会



令和四年十一月二十七日(日)に、岩松地区市民安全大会を開催しました。今年のテーマは「防犯」でした。まず富士警察署西富士交番所長足立様から一般市民の立場に立った心に残る講話を、そして特殊詐欺撲滅指導員の佐々木様からは振り込め詐欺をはじめとする各種詐欺の手口などを紹介していただきました。大会開催にご尽力くださいました方々、ありがとうございました。

市民安全大会実行委員会  
委員長 島田 智嘉

# 市民体育祭の中止について

岩松地区では市民体育祭が二年間中止となっていました。依然としてコロナ禍ではありますが、今年こそは何とか開催したいとの思いで、体育祭実行委員会を組織し、準備をしてきました。

令和四年六月から実行委員会を開催し、九月の本番までに様々な準備を行いました。コロナ禍ということで、競技内容も大幅に見直しました。

当初は五地区の参加希望があったので、プログラムを作成し、準備を進めていました。しかし、八月に入り新型コロナウイルスの感染状況が悪化したこともあり、参加を辞退する町内が増えたため、八月二十日(土)の役員会で断腸の思いで中止を決定しました。

残念ながら三年ぶりの市民体育祭の開催にはこぎつけなかったものの、直前まで準備をしてきたことは来年につながると思っています。やがてコロナ禍が終息し、地区の皆様と市民体育祭で会えることを節に願う次第です。



市民体育祭実行委員会  
委員長 本谷 島作



# 地区文化祭



令和四年十一月十三日(日)に、岩松まちづくりセンターにて、三年ぶりに地区文化祭を開催しました。  
 感染症対策のため、岩松地区の子どもたちの作品の展示のみとなりましたが、予想を上回る多くの来場者(約三二〇名)で大変賑わいました。



地区文化祭実行委員会

委員長 大芝 收

## インディアアカ大会



近年は新型コロナウイルス感染症のまん延のために行事中止が相次いでいましたが、体育保健部の今年度最後の行事として、インディアアカ大会を令和五年一月十五日(日)に無事開催できました。御協力ありがとうございました。

うございました。  
 参加チームは七チームと以前と比べて少なくなってしまうましたが、その中でも皆様和気あいあいと楽しんでいただけたと思います。  
 来年度も、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

まちづくり協議会

理事 鈴木 健二

# 凧作り教室&凧あげ大会



令和五年一月八日(日)午前九時から、かりがね堤において、岩松・岩松北小学校区の親子参加型の凧あげ大会を開催しました。三年ぶりの凧あげ大会となりましたが、この日は天候にも恵まれ、素晴らしい風もあったので絶好の凧あげ日和。雪化粧の富士山を背景にいくつもの凧が青空に揚がりました。

岩松北地区生涯学習推進会からは、縦横約二メートルの手作り凧をこの日のために二つ提供していただきました。一つの凧を大人四人がかりで高さ四十メートル上空まで揚げると、たくさんの歓声がわき起こりました。

両地区親子合わせて一七四名もの参加者が集まりました。子どもたちには参加賞として、お菓子の詰め合わせが全員に配られました。また、手作り凧の表彰、親子の絆賞、一番高く揚がった賞、一生懸命賞などの各表彰も執り行われました。



まちづくり協議会  
理事 小笠原 幸臣

## どんど焼きの中止について

令和5年1月14日(土)に、かりがね堤にて3年ぶりにどんど焼きを開催する予定でしたが、どんど焼きに使用する消火用の水源が確保できなくなってしまったため、やむなく中止となりました。

区民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後とも子ども会活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

岩松校区子ども会世話人連絡協議会 会長 野坂 享子